

- 設立 2010年7月27日
- 会員数 128 (2012年2月末現在)
- 会長 小宮山 宏 株式会社三菱総合研究所理事長 東京大学総長顧問
- 主な活動  
コンテンツ・ソフトWG、21世紀型授業WG、アクセシビリティWG、  
教育クラウドWG、広報WGを置き、下記活動を展開。

○普及啓発

- ・シンポジウム、ウェブサイト、映像制作などによる情報発信
- ・先生とのコミュニティの形成  
財団法人コンピュータ教育開発センター(CEC)、  
社団法人日本教育工学振興会(JAPET)の3団体により  
全国の教職員や関係者が意見交換できるコミュニティ  
「TEC(Teachers' Educational Community)」をスタート  
(2011年7月)

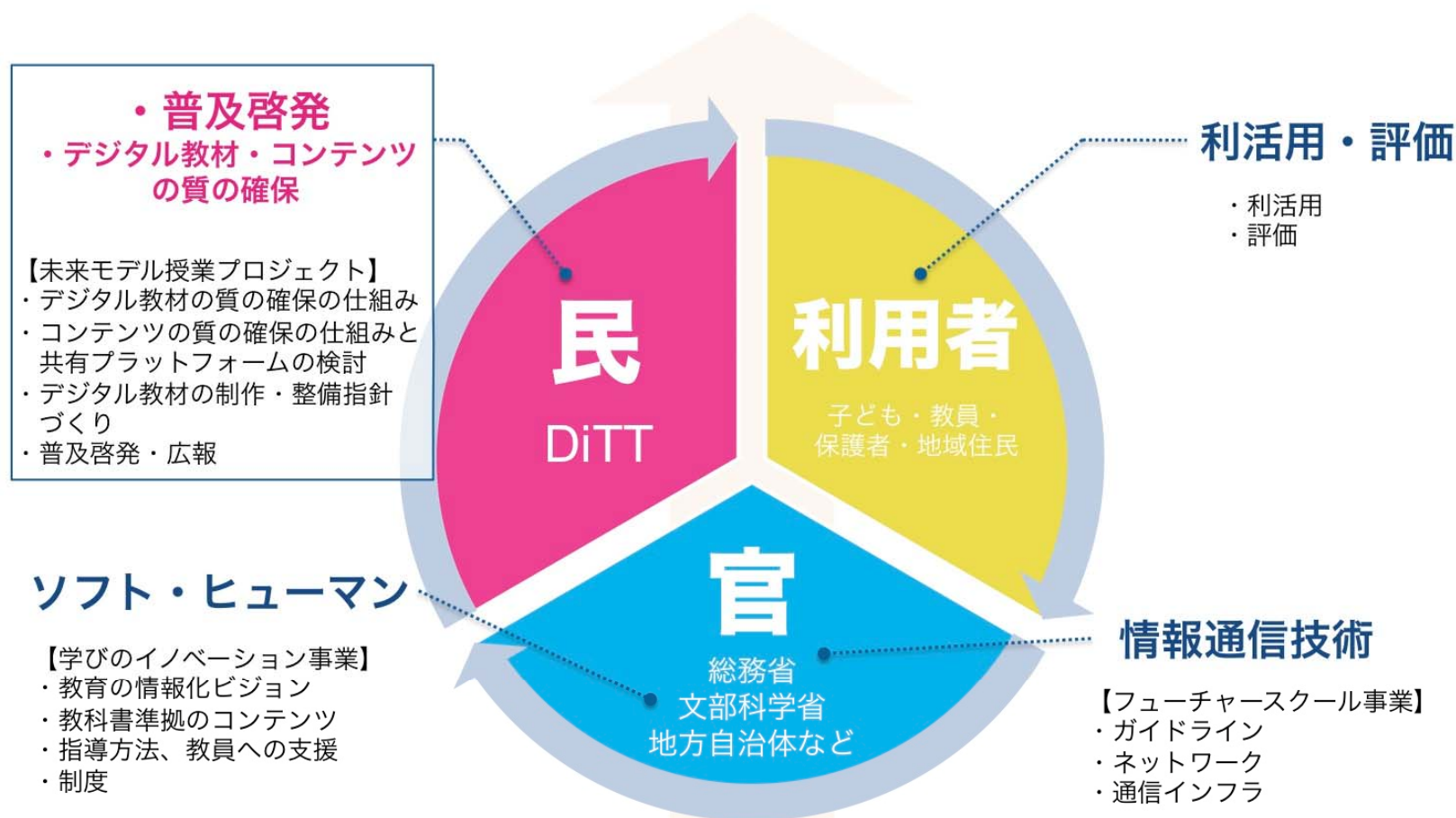
○調査研究

- ・政策提言等  
「第一次提言書」として報告とりまとめ(2011年4月)  
DiTTビジョンとして関係方面に提出(2011年4月)  
「第二次提言書」を策定作業中
- ・実証研究  
各地の学校と連携し、  
12のグループ・地域で実証研究を開始(2011年秋から)



# DITT VISION (2011.4より)

## 三位一体で動き出した教育の情報化



平成22年6月：閣議決定「新成長戦略」

平成22年5月：高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部「新たな情報通信技術戦略」





## DITT政策提言 (要旨)



### 1 目標の前倒し

「21世紀にふさわしい学校教育の実現」の達成スピードを高め、一人一台の情報端末の配備、全教室への超高速無線LANの整備、デジタル教科書・教材の開発が2015年に達成できるよう取り組むこと

### 2 教育の情報化に関する政府予算の大幅増額

教育の情報化対策に関する地方財政措置 (H23.約1,673億円) を2015年度まで段階的に単年度3,000億円程度まで増額するか、または次年度より実質措置率を100%近くまで高めるように図るとともに、長期的な予算措置と財源確保策を政府全体で早急に検討すること

### 3 官民共同実証実験の拡大

政府が進める実証実験と民間の取組とを協調・連動して行い、国全体の重複回避、実験規模の拡大を図ること

### 4 連絡協議会の設置

官民連携による教育情報化を進めるため、国、自治体、DITTその他関係団体による連絡協議会を設置すること

### 5 教育クラウドの早期導入

政府と民間は、教育クラウドの標準化・普及を推進する戦略を協議・立案すること

### 6 復興対策との連動

防災や緊急時対策に資するべく、学校を軸とした地域情報共有体制を設計するなど震災復興対策と学校情報化との連動策を検討すること

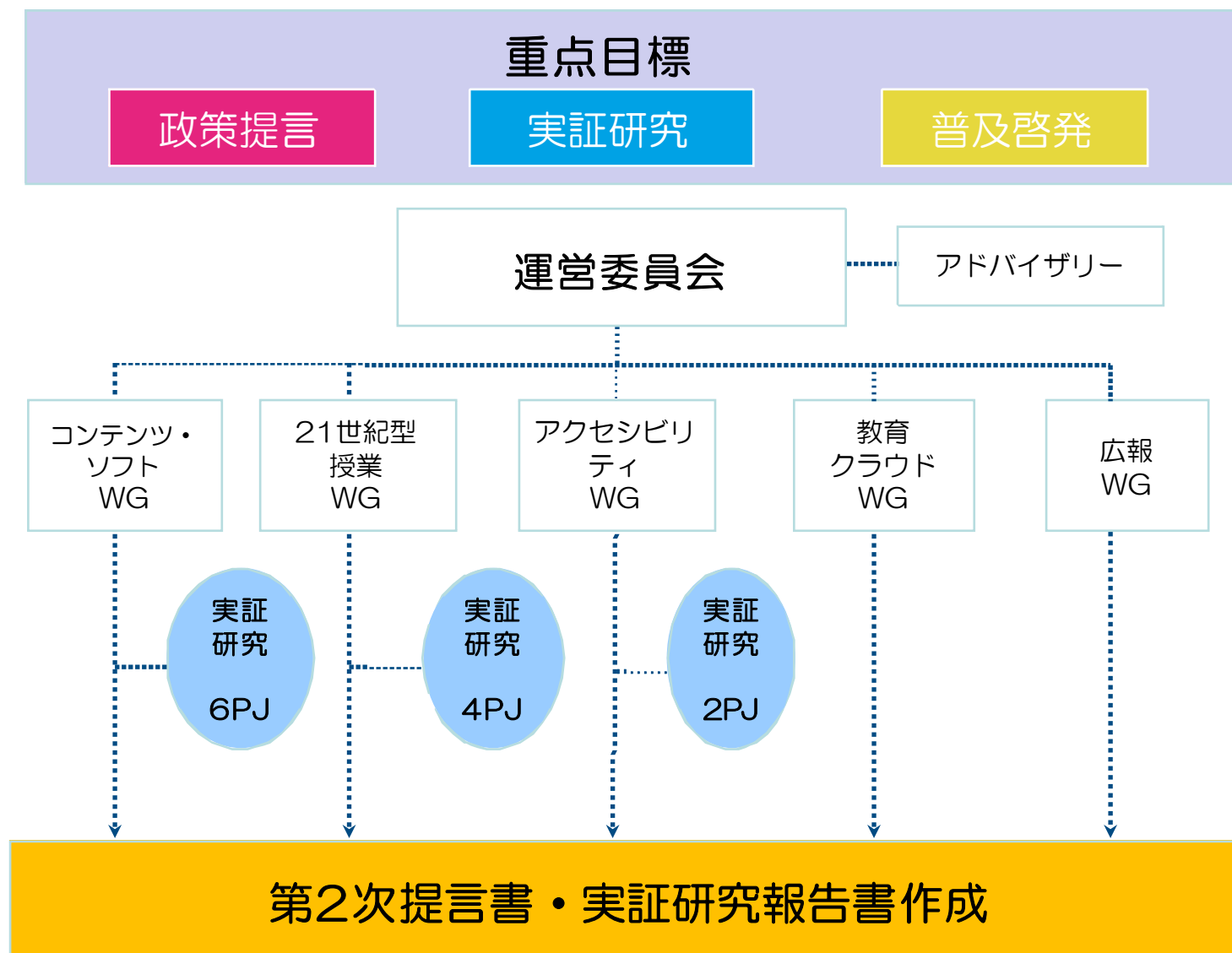
### 7 海外展開の促進

機器、情報システム、教材などを民間企業が海外でも展開しやすくするよう、国際共同調査や国際共同実験などに取り組むこと

### 8 教育情報化臨時措置法の制定

各種施策を推進するための支援法を策定すること

# 2011年度DiTTの運営体制と取り組み



# 実証研究 I (コンテンツソフトWG)

	1	2	3	4	5	6
研究テーマ	デジタル授業書で教員育成	デジタル教科書と授業法開発	1人1PCでデジタル教材活用	情報活用能力を育てる仕組み	聞かせる英語ツールで授業改善	意見練上げツールで授業改善
観 点	教員育成	授業法	1人1台PC環境	デジタル教科書	外国語活動	協働学習
担当企業	ピアソン桐原	学協	内田洋行	文溪堂	ジャストシステム	ジャストシステム
実証地区	新宿区	名古屋市	中央区	岐阜市	佐賀市	三好市
環境構築	構成検討済	検証中	導入済	導入済	導入済	導入済
授業実施	来年度	3月末	実施済	実施済	実施済	実施途中

## 実証研究Ⅱ（21世紀型授業／アクセシビリティWG）

	7	8	9	10	11	12
研究テーマ	レゴブロックを使ったデジタルストーリーテリング	情報モラル・先生保護者対象とした授業づくり	家庭での協調学習の実践と教育効果研究	編集とデザインの力を生徒とともに考える	読みに困難のある児童のデジタル教科書活用	学習に困難のある児童の通級でのデジタル教材活用
観 点	21世紀型スキル	情報モラル教育	協働学習 家庭学習	21世紀型スキル	アクセシビリティ	アクセシビリティ
担当企業	レゴエデュケーション	第一法規	NEC、他	AZホールディングス	日本マイクロソフト	日本マイクロソフト
実証地区	東京都下	千葉市	調整中	未定	奈良県	狛江市
環境構築	導入済	導入済	調整中	未定	導入済	導入済
授業実施	実施済	3月末	調整中	未定	実施済	実施済

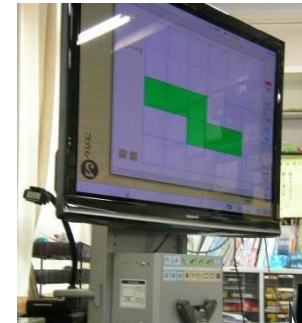
# 中央区立城東小学校（4年 算数）

机間巡視、個別指導をしながら子どもたちの画面をIWBに転送。  
IWBとタブレットPCを使った授業ならではの工夫された指導法。



先生用のスレートPCから遠隔操作で情報端末の画面をIWBに転送。

机間巡視・個別指導しながら、授業のリズムを崩さず効果的に指導。



ICT活用に適した指導法が工夫されている。

- ・子どもの視点（黒板⇔IWB⇔情報端末）
- ・机に出す物（タブレットPC⇒ノートと鉛筆）
- ・使う教材（触れる教材⇒デジタル教材）



# 岐阜聖徳学園大学附属小学校（5,6年 総合学習）

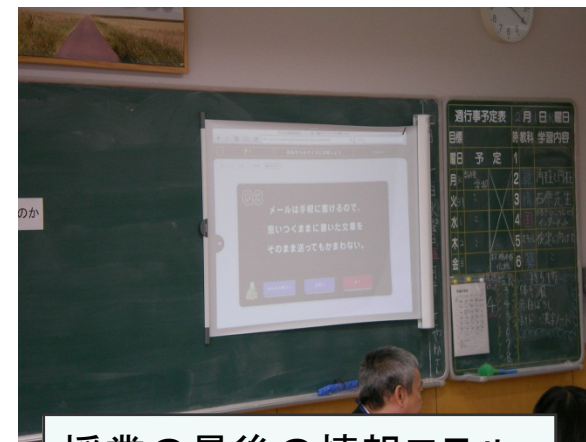
手間も時間もかけずICT環境を簡単準備。ノートもドリルも全てデジタル教科書上で実現したため机上がスッキリ、子どもたちは授業に集中。



タブレットPCの管理は簡易。授業前から自由に使用しており、使い方リテラシーも教育されている。



マンガで知識習得→考えを入力→共有→みんなで議論。一連の流れが全てデジタル教科書で可能。



授業の最後の情報モラルクイズ、クイズ番組さながらの盛り上がり。その後の後片付けも素早い。





# 佐賀市立赤松小学校／若楠小学校（5年 英語）

外国語活動は教材準備・提示が大変、デジタル教材の可能性は大きい。  
英文自動読上げツールが大人気、自分のペースで聞取りと発音の練習。



クイズ形式で動物の名前を覚え、班で食物と生息地を相談。タブレットPCで実施したいと先生から希望。（今回の実証研究では児童用まで用意できず）



外国語活動の教材が不十分。外国語活動担当の先生は手間をかけ作成するが、他の担任には難しい。デジタル教材拡充が必要。

タブレットPCで個別学習、子どもたちに大人気だった。聞取り練習・発音練習とも、自分のペースで気兼ねなくスピードを変えながら何度も繰り返し練習している。

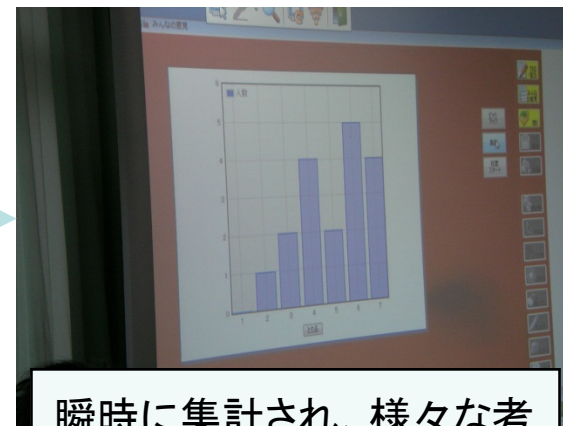
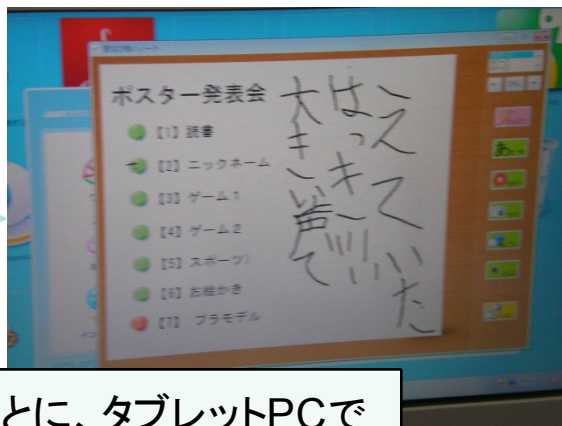


# 三好市立池田小学校／辻小学校（4年 総合学習）

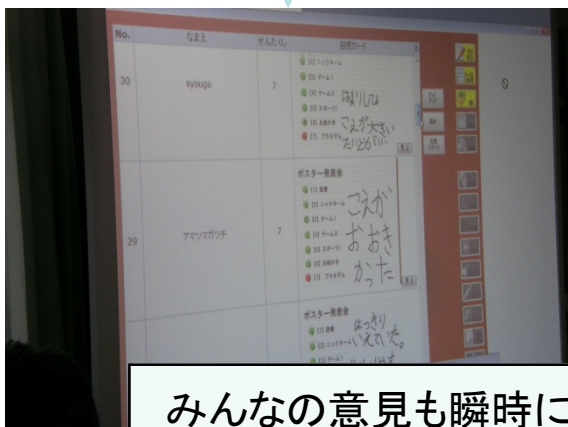
クラスで意見を練上げる過程で思考・判断・表現力を養い、みんなで意見をまとめる手法の練習にも。普段発言できない子がICTで意見を発信できる。



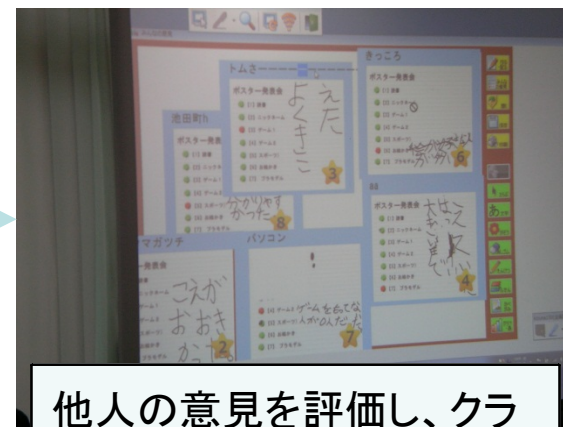
ノートにメモした内容をもとに、タブレットPCで自分の意見を書込む。必ず理由を書かせる。



瞬時に集計され、様々な考えがあることを知る。



みんなの意見も瞬時に一覧化、子どもたちは興味津々、自然とクラス全体で感想を言いあう状況に。



他人の意見を評価し、クラス全体の意見傾向も共有。



## 奈良県香芝市立小学校（5年 国語）

読みに困難のある児童がデジタル化された教科書(DAISY)を使い、通常授業の中で他の児童と一緒に授業を受けており、確実に授業内容の理解が深まっている。



デジタル化された教材を白布に映し、  
ハイライトされたところをクラス全体で  
音読

PCの方が理解が進む児童2名のみPCを  
使って学習。黙読する時間や文章の意図  
を考える時間に、PCとヘッドフォンで  
デジタル化された教科書を聞いている

